

成田空港の更なる機能強化に関する町民説明会における質疑応答の概要

◎第5回

開催日：平成28年10月16日 午後7時～

会 場：芝山文化センター

参加者：82名

(質問者①)

- ・ 交付金の充実に関して、直近の実績額を教えてください。また、今後の計画について、試算額を教えてください。仮に、試算していないのであればその理由をお聞きしたい。また、試算しているが公表できないのであればその理由をお聞きしたい。世帯数が厳密に出ないのは理解できるが、1種区域の想定戸数を計算していないのか。
- ・ 町長は現在に比べてどれくらい増額されることを期待しているのか聞きたい。

[回答 成田国際空港株式会社 (NAA)]

- ・ 交付金の計算方法には、世帯数によるものと着陸回数によるものがあります。着陸回数については50万回で計算できるようにしたいと考えています。世帯数については、今回ご提示したコンターを基に第1種区域を設定して、その範囲に入った世帯数をカウントしていくものであるため、現時点では金額についてはお答えできない状況であります。直近の実績は42億円を若干下回るくらいであります。世帯数の試算については、62dbの範囲内になる戸数は概ね2,000戸くらいと見込んでいますが、第1種区域はそこから更に外側に線引きされるものであり、市街地等もある関係で概算することが難しい状況であります。

[回答 芝山町]

- ・ 現在の周辺対策交付金の原資は全体で41億5,000万円ほどであり、それを空港周辺自治体に配分されております。芝山町は8億円いただいております。内訳としては芝山鉄道や航空博物館への補助、空調機の維持管理補助金、土地家屋の固定資産税補助金、地区への環境整備費等があります。交付金の使途は限られていますが、町にとっては貴重な財源であり、少ない予算を公平に精査して使っていくのが我々の役割であると思っております。

(質問者②)

- ・ 障害者の家族がいて、数年前に具合が悪くなって眠れなくなったのだが、移転のことで等をNAAに行けば相談に乗ってもらえるのか。

[回答 NAA]

- ・ 対象区域外においては、移転補償という面でご相談に答えることは難しいと思います

が、具合が悪いということであれば、個別に状況をお聞きすることはできると思います。

(質問者③)

- ・夜間飛行制限の緩和には地域の理解が絶対に必要とのことだが、地域の理解や同意とは具体的にどういった概念のことなのか。関係市町の執行機関の長が同意することで理解を得たと判断するのか。

[回答 NAA]

- ・まずは説明会で地域の皆様にしっかりと理解していただく努力をしていきたいと考えています。当然議会もあると思いますし、最終的には四者協議会でご理解をいただくことであると認識しております。

[回答 芝山町]

- ・今回、全体の大きな枠組みで5回ほど町民説明会を開催させていただきました。今後は、要望があった地区に伺って、膝を交えて意見が言いやすい状況で説明会を開催していきたいと思っています。これからは小さい単位で町民の皆様の本音を聞き、それを積み重ねて結論がでるものであると認識しています。

(質問者④)

- ・成田空港の機能強化については、当然必要であると認識している。しかしながら、地域の小さな問題は国や県に届きづらいと思う。C滑走路の整備に関して、排水は高谷川に流すことになると思うが、現状でも大雨が降ると道路が冠水し、農作物への被害も大きい状況である。機能強化による排水対策で、高谷川を今後どうしていく考えなのか聞きたい。
- ・A滑走路の直下の地区に住んでいるが、かつて32戸あった民家が空港の関係で12戸が既に移転し、更に6戸が移転対象となっている。残るのは14戸となり、集落の存続が危ぶまれている。機能強化により、A滑走路についても移転区域の見直しがあるのではないかという期待がある。小さな集落は相手にしないということがないように、地域的心声を十分に聞いて慎重に検討してほしい。
- ・A滑走路のコンターとC滑走路のコンターで大きさが違う。飛行回数が増え、夜間も延長するという説明だが、B・C滑走路だけでなくA滑走路も使うことになるはずである。コンターの大きさが違う理由が分からない。

[回答 千葉県]

- ・高谷川の排水については、大きな問題であると認識しています。今回の計画は、道路・河川・農地に大きく影響するものでありますので、県の内部でも課題を整理して、機能強化による社会基盤への影響にどう対応するのか検討していきたいと考えています。

- ・移転の問題については、騒音コンターを基に騒特法の線引きの見直し作業をしていくこととなりますが、皆様の声を聞きながら、町と協議して検討していきたいと考えています。今後開催される予定の地区説明会にもできるだけ参加させていただき、皆様のご意見を聞いていきたいと考えております。

[回答 NAA]

- ・A滑走路のコンターについても夜間を加味して作成しておりますが、現状が大型機材の比率が高い古いコンターで引かれているため、機材の小型化や機材比率の変化による影響が大きく現れた状況になっております。

(質問者⑤)

- ・機能強化の今後の予定で、B・C滑走路整備はオリンピック後、夜間飛行制限の緩和はオリンピック前となっている。仮に現A・B滑走路で夜間飛行制限の緩和を実施するのであれば、A滑走路にその影響が大きく出るのではないかと。それなのにコンターが小さくなるというのは理解ができない。今回のコンターは3本の滑走路で大型機材を均等に割る想定で作成したとの説明であったが、滑走路完成前に規制緩和を先行するのであれば、コンターを作成した際の想定と実際の飛行状況は合っていないのではないかと。

[回答 NAA]

- ・夜間飛行制限の緩和に関しまして、空港管理者としては早く実現したいという思いはありますが、まずは必要性やそれに伴う対策についてしっかりと説明させていただき、理解を得ることが先決であると考えています。50万回コンターについては、A滑走路においても夜間飛行制限緩和を加味した形で作成しておりますが、3本の滑走路に割り振らせていただくのと併せて、機材の低騒音化の理由により今回ご提示した形になっております。

(質問者⑥)

- ・発生原因者が対策を講じることは当然のことである。防音対策の充実として寝室に内窓を設置するとの提案があったが、そもそも騒音対策等について住民の声が入って確立するような状態になっていないのではないかと。これまで様々な対策を行ってきたと思うが、住民個々の声を聞く形は確立していないのではないかとという疑問がある。
- ・テレビのデジタル化により、航空機はテレビの電波にまったく影響しないという説明があったが、本当に電波障害がないか個々の住宅に出向いて確認しているのか。
- ・県の防音対策でコンクリート製の防音室を設置したと思うが、かなり老朽化も進んでおり、この建物の措置について今後どのような方針を持っているのか。維持や取り壊しの方法について聞きたい。
- ・地区の集会所について、騒防法の区域の中にある施設であるが、防音工事については

どのようにすればいいのか。

[回答 NAA]

- 個々の声を聞いているのかとのことについては、今後もこういった説明会等の場を通じてご意見をいただき、しっかりと考えていきたいと思えます。
- デジタル放送の電波は、その特性上航空機の影響は受けなくなっています。飛行機が飛んでくると映像がぶれる等のお話で現地を確認すると、アンテナの向きや接触不良等を修正すると症状がなくなる場合が多いと聞いております。調子が悪い場合は、ご相談いただければ調査に伺いたいと考えております。
- NAA が防音工事助成する前に、別棟で防音構造の建物を建築していたと認識しています。この構造物が経年劣化した場合の対応について、通常の防音工事であれば共生財団のサッシ交換等があると思えます。どういった対応策があるのか勉強していきたいと思えます。

[回答 芝山町]

- 町の補助事業として、集会施設の新築の補助と、防音工事をする改修工事の補助制度があります。集会所の防音工事に関しましては、町の空港地域振興係にご相談いただければ対応させていただきます。

(質問者⑦)

- 私は 10 年前に芝山を去った者だが、芝山に両親が住む家屋敷と農地があり、自分も土日には帰ってきている。芝山を去った理由は騒音が酷くて暮らしていけないからである。また、交通が不便で通勤が困難であり、子どもがいれば教育面も考えると思う。防音工事の説明があったが、農家は田畑で生活しているし、子どもたちは外遊びの時や学校でも外で活動するところに騒音が降ってくる。住民は家の中だけで生活するわけではない。航空機からの害煙を毎日吸うことによる将来の健康不安もある。将来を見ると、若い人達にとって芝山町の魅力がどんどん薄れていってしまうと思う。地元の行政・議会として、今後の芝山町をどうしていくのか将来的なビジョンを町民に示してほしい。芝山町は空港がくる前は 1 万人の人口がいたが、現在では 7,000 人となっている。このままでは町の役場が繁栄して、住民はどんどんいなくなってしまうという心配がある。行政の舵取りをしている方々に、今後についてよく検討いただきたい。

[回答 芝山町]

- 現在人口は 7,500 人程度となっており、人口増は非常に大事であると認識しています。成田市は成田空港を抱えていて 4 万人だった人口が 13 万人になっており、これには都市としての魅力があるのだと思えます。今、芝山町の地域も大きく見直そうと思っており、それは機能強化と併せて実現できると思っています。この 10 月末には芝山の役場から空港を経由して品川に行く高速バスが運行します。このように、都市

と農村がしっかりと結ばれる環境ができてきていると感じています。今後、C滑走路が完成した場合には700haの土地が空港敷地になると思います。その際の税収はどうなるのか、交付金はどうなるのかを考えた時に、限りない可能性を秘めていると思っています。健康や福祉、教育、幼児教育を含めて、日本に類を見ないようなすばらしい環境が整うと信じています。近い将来には芝山千代田駅前にホテルも建設されます。また、芝山町は交流人口が非常に豊かな町であり、それだけ芝山に職場があるということでもあります。町民の皆様にとしっかりとした夢を語ることが我々の役割であり、自信を持ってこの地域に住んでいただける街づくりをしていきたいと認識しています。それが今回の機能強化に大きく繋がっていると思うし、それを目指して皆さんのお力添えをいただきながら作り上げていきたいと思っています。

(質問者⑧)

- これからの流れを知りたい。町としては夜間飛行についてどうしていくのか。NAAもその対策についてどのような順番でやっていくのか。今後、地区説明会をやるということだが、それはいつからなのか。アンケート等を実施することはできないのか。アンケートをとれば個々の家族全員の意見が聞けると思う。

[回答 芝山町]

- 5回の説明会を実施させていただきましたが、まだ不十分であると思っています。もっと小さい単位で町民の皆様の本音を聞けるような説明会をやりたいと思っています。現在、芝山だけでなく他市町でも説明会をやっている最中であり、すぐに実施できるかは分かりませんが、少なくとも町とNAAは出席しなければいけないと考えています。そこでビジョンを語る義務があります。今後いつから実施していけるのか整理していきたいと思っています。アンケートもひとつの方法としてあるかもしれませんが、現段階ではそこまで考えておりません。様々な方法を駆使しながら町民の皆様のご意見をお伺いしたいと思っています。

(質問者⑨)

- 最終的にこの計画で進めるという判断は、どのタイミングになるのかももう一度確認したい。
- 現在、空港は株式会社になっているが、発着回数や旅客数の見込が実現せずに経営が悪化した際は、地域に対する補償はどうになってしまうのか。
- 人口減について、町が頑張るべきところかもしれないが、県でも周辺市町間の格差は承知していると思う。空港の機能強化によって、音はうるさくなるが人口が減らない町になるというビジョンが見えないと、この計画がいいという思いにはならないと考える。県には格差解消に力を入れて取り組んでもらいたい。
- 法律によって騒音レベルで対策内容に決まりがあると思うが、普段の騒音の状況と計

画が実現した場合の騒音の差で考えてほしい。状況によって騒音の差が感覚的に大事になるので、その点にも気を配ってもらいたい。

[回答 NAA]

- ・現在は、四者協議会で説明することに了承をいただいて、皆様のご理解をいただくために説明会をさせていただいている段階であります。それを前提にすると、四者協議会が決定の場になると思います。現在は環境アセスメントという手続きも同時に進めており、その後に航空法の手続きに入っていきます。
- ・経営が悪化した際に対策はどうなるのかということですが、騒防法に基づいて NAA で実施している対策については空港管理者の義務として行っているものであり、必ず実施することになります。NAA は法律に基づく会社であり、周辺対策交付金のことも明記され、きちんと実施するように規定されています。
- ・騒音の基準について、Lden は夜間の騒音について重み付けをしており、10 倍くらいの騒音として感じ方を加味した形で設定されています。

[回答 千葉県]

- ・9月の四者協議会でも、各首長から「騒音地域に配慮し空港があつてよかったと実感できるような空港圏全体の均衡ある発展が必要である」というご意見をいただいております。機能強化を進めるにあたり、県としても9市町の皆様と協力しながら、どういった形で地域づくりができるのか検討していきたいと考えています。

(質問者⑩)

- ・説明会に来る際に入口で反対運動をしており、車の前に立ち塞がる等の妨害があつた。この機能強化をやるにあたって、どのような反対運動が展開されるのか、住民に対する危害はないのか、見積りがあれば聞きたい。私は3年前に芝山町に越してきた。終の棲家と考えて穏やかに暮らしたいと思っているのだが、今日見たら既に反対運動が始まっている。治安は大丈夫なのか、対策はあるのか。

[回答 NAA]

- ・成田空港建設当時の経緯があり、反対運動がなくなっていない状況であります。建設当時は閣議決定があり、住民の皆様にも説明しないまま進めた「ボタンの掛け違い」と言われる経緯がありました。現在我々は、案についてご説明しているところであり、今後も地区説明会等で皆様のご理解を得ながら計画を進めていくというのが大前提であります。我々としては、建設当時のような反対運動が起きないように進めていきたいと思っております。

(質問者⑪)

- ・空港が大きくなることは喜ばしいことであると思う。昔、芝山鉄道ということで騒がれていたが、その話は現在どうなっているのか聞きたい。延伸を待ち望む声に対して

期待に添えていないと思う。できれば一刻も早く実現してもらいたいという気持ちである。

[回答 芝山町]

- ・芝山鉄道は平成 14 年 10 月に千代田まで開通しました。一時期は 90 万人まで利用客がいましたが、JAL の破綻により空港整備地区に勤務する職員が減少してしまい、現在では 58 万人くらいの利用者に減ってしまっております。芝山鉄道には町からも補助金を出しており、経営的には赤字ではありませんが、今後どうなるか分かりません。成田空港開港当時の約束として、芝山鉄道を芝山町中心部まで完成させるという話があり、芝山鉄道が始まって 10 数年になりますが、延伸が非常に難しい局面にきていると思っています。諦めたわけではなく、お願いは続けておりますが、現状の利用者では非常に厳しいところであることはご理解いただきたいと思えます。ただし、これは開港当時の約束であるので、お願いは続けていきます。

[回答 NAA]

- ・芝山鉄道の延伸については、ひとつの大きな課題であると思っています。今回の滑走路整備となりますと、道路の整備等も課題となっており、地域振興連絡協議会の中でも、空港周辺の地域交通のあり方について調査することになっております。芝山鉄道をすぐに延伸することは難しいと思えますが、地域交通全体の中のひとつとして検討していくことになると思えます。